

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	近畿大学東大阪キャンパス整備計画	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市小若江3丁目4番1	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,745 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年5月15日
敷地面積	5,060 m <sup>2</sup>	作成者	NTTファシリティーズ澤井春美
建築面積	2,185 m <sup>2</sup>	確認日	2018年5月15日
延床面積	6,461 m <sup>2</sup>	確認者	NTTファシリティーズ畠山文聡



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 77%  
③上記+②以外の 77%  
④上記+ 77%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
既存のキャンパス内の建物や自然と調和しつつ教育環境の向上につなげるような計画を行う。		・キャンパス内の建物の歴史を踏襲した外装材の選定。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・F☆☆☆☆建材を採用し、室内の空気環境にも配慮する。	外装内装ともに高耐用年数のものを選定。高い耐震性能の確保	・敷地内を積極的に緑化し、水盤を設けることで、キャンパス及び周辺緑地と「緑のネットワーク」を形成する。 ・インターロッキング、石などの既存素材を用いた外構
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
運用管理体制の作成の徹底	有害物質を含まない建材種別を採用	・屋外機の屋上設置(目隠し壁)による騒音低減および景観形成

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0022

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	近畿大学東大阪キャンパス整備計画Ⅱ期計画建物1(A棟)					
	建設地	大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号					
	用途/区分	学校(大学等)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					4	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		